

土岐市病院事業（土岐市老人保健施設やすらぎ）令和2年度実績に係る指定管理者評価シート（令和3年度実施）

| | |
|------------------------|--|
| (1)指定管理者 | 岐阜県厚生農業協同組合連合会（岐阜市宇佐南 4-1-3） |
| (2)指定期間 | 令和2年4月1日から令和7年3月31日まで |
| (3)業務の範囲 （協定書 14 条） | 土岐市老人保健施設やすらぎ (1)介護保険法に規定する介護保健施設サービス、短期入所療養介護、介護予防短期入所療養介護、通所リハビリテーション及び介護予防通所リハビリテーションに関する業務 (2)施設及び設備の維持管理に関する業務 (3)利用料金の収受に関する業務 (4)地方公営企業法第 33 条の 2 の規定により委託する手数料の徴収に関する業務 (5)前各号に掲げるもののほか、甲乙協議の上、甲が必要と認める業務 |
| (4)事業方針 （事業計画書 P2） | 1 土岐市老人保健施設やすらぎの介護機能引継ぎによる地域介護水準の維持 ・指定管理者制度へ移行後も介護サービス機能を基本的に引き継ぐこととし、地域介護水準の維持に努めます。 2 地域連携の促進 ・地域の医療・介護の関係者との連携を深め、東濃中部地域包括ケアシステムの構築に寄与します。 |

| |
|--|
| 評価の定義 5：事業実施や運営状況について、事業計画書及び協定事項を大幅に上回り、非常に優れた成果を上げている。 4：事業実施や運営状況について、事業計画書及び協定事項を上回る運営がなされている。 3：事業実施や運営状況について、事業計画書及び協定事項に沿って、適正に実施されている。 2：事業実施や運営状況について、概ね事業計画書及び協定事項に沿って、適正に実施されているが、一部に改善の余地がある。 1：事業計画内容が実施されていない、または協定事項が遵守されておらず事業実施に支障があり、早急な対応が求められる。 |
|--|

| | 事業計画書の主な内容 | 評価対象事項（※協定書、仕様書の内容を踏まえて） | 指定管理者 自己チェック コメント （取組状況等を記載） | 令和2年度の主な実績 ※青字は別紙 | 評価結果（）は前年度 | | 市及び委員会の評価 |
|--------------------------------|---|--|--|---|------------|-----|---|
| | | | | | 市 | 委員会 | |
| 1. 介護機能 ※協定書 19 条、仕様書第 4 関係 | 【事業体制】 土岐市老人保健施設やすらぎの介護機能引継ぎによる地域介護水準の維持 ・介護を必要とする高齢者の自立を支援し家庭への復帰を目指すため、介護保健施設サービス（長期入所）を行う。 ・家庭で療養されている方を対象に、身体の状態の悪化の予防・軽減することを目的に通所リハビリテーション事業（介護予防事業を含む）を行う。 ・在宅で生活介護を必要とされる方が、一時的にご自宅での介護を受けることが難しいときなどに短期入所療養介護事業（介護予防事業を含む）を行う。 【職員配置(人)】 職員体制は、令和元年度の体制を基本に医療従事者及び介護職員の確保に努め、適正な職員配置を行う。 医師：常勤 1、 看護師：常勤 9（うち准看護師 2）、非常勤 1.9（うち准看護師 0.6） 介護福祉士：常勤 15、非常勤 13.3 | 【事業体制】 医療依存度の高い要介護者の自立を支援するための質の高いサービスの提供及び早期の在宅復帰対策について ・職員配置 ・地域包括ケアの取組状況 ・介護保険施設サービス利用者数 ・通所リハビリテーション利用者数 ・入所率 ・在宅復帰率 ・ベッド回転率 ・稼働率 ・相談件数 ・在宅復帰・在宅療養支援機能加算 | ・外国人技能実習制度による技能実習生 4 名の受入れを計画しているが、新型コロナウイルスにより入国が遅れている。受入れに備え、指導者研修、生活指導員研修に参加した。 | ・職員配置（令和3年3月31日時点） 1-① 医師・看護師・介護福祉士の確保の状況 ・地域包括ケアの取組状況 ・介護保険施設サービス利用者数 ・通所リハビリテーション利用者数 1-② 介護保険施設サービス利用者数・通所リハビリテーション利用者数 ・入所率 1-③ 入所率 ・在宅復帰率 1-④ 在宅復帰率 ・ベッド回転率 1-⑤ ベッド回転率 ・稼働率 1-⑥ 稼働率 ・相談件数 1-⑦ 相談件数 ・在宅復帰・在宅療養支援機能加算 1-⑧ 在宅復帰在宅療養支援等評価指標 | 2 | 2 | 【市】 介護福祉士の確保の状況、介護保険施設サービス利用者数・通所リハビリテーション利用者数について、計画を下回った。利用者数の増加を図るため、介護スタッフ等の確保に努められたい。 【委員会】 運営状況を改善するため、情報収集に努め、介護福祉士の確保に努めていただきたい。 |
| | 【安全管理・倫理管理】 安全で満足できる医療を提供 人間尊重の医療に努める。 | 【安全管理・医療倫理】 安全管理・医療倫理に基づく医療の提供について ・安全指針の策定 ・安全管理委員会の開催 ・安全管理研修の実施 ・院内感染防止指針の策定 （委員会開催件数、研修会開催件数） ・院内感染対策研修の実施 ・医薬品の安全使用研修の実施 | ・医療安全・感染防止に関する委員会を毎月 1 回実施 病院主催の研修会の他、施設内でも年 2 回実施。 その他、管理者会議、教育委員会、定期検討委員会、企画検討委員会、全体カンファレンスを毎月 1 回開催。 ・土岐北消防署から AED 他を借り BLS（一次救命処置）研修を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症感染防止のため、面会制限を実施し、タブレット端末による面会を実施した。施設内でのクラスター、通所者が陽性であった場合などシミュレーションし対応マニュアルを作成した。 ・通所リハビリテーション災害時対応マニュアルを整備した。 | 【安全管理・倫理管理】 ・医療安全 （安全指針あり、安全管理委員会 12 回開催、研修会 2 回開催、インシデント・アクシデント報告件数 80 件） ・感染防止（院内感染防止指針あり、院内感染防止委員会 12 回開催、研修会 2 回開催） ・医薬品安全管理（研修会開催件数 0） | 3 | 3 | 【市】 安全管理・医療倫理等の対策について、適切に実施された。 タブレット端末を活用し、面会を実施するなど新型コロナウイルス対策を行った。 |

土岐市病院事業（土岐市老人保健施設やすらぎ）令和2年度実績に係る指定管理者評価シート（令和3年度実施）

| | 事業計画書の主な内容 | 評価対象事項（※協定書、仕様書の内容を踏まえて） | 指定管理者 自己チェック コメント （取組状況等を記載） | 令和2年度の主な実績 ※青字は別紙 | 評価結果（）は前年度 | | 市及び委員会の評価 |
|---------------------------------------|--|---|---|---|------------|-----|---|
| | | | | | 市 | 委員会 | |
| 1. つづき | | <ul style="list-style-type: none"> 医療機器安全使用研修の実施 医療機器の保守点検計画の策定及び実施 | <ul style="list-style-type: none"> 病院と合同で実施 | <ul style="list-style-type: none"> 医療機器安全管理（医療機器安全責任者あり、研修会7回開催） 医療機器の保守点検計画あり | | | |
| 2. 施設等の維持管理 ※協定書24条関係 | <p>【施設等の維持管理】</p> <p>保守内容の見直しを行い、フルメンテナンス契約からスポット契約への移行を検討する。</p> | 施設・設備管理の実施状況 | <ul style="list-style-type: none"> 看護師のユニフォームの契約について、厚生連病院でのスケールメリットを生かし経費削減を図った。 洗濯業務、給食業務等の契約について見直しを図り経費削減に努めた。 寝具について組数を見直し経費削減を図った。 | <ul style="list-style-type: none"> 施設等の保守点検実績 医療機器等の保守点検実績 | 3 | 3 | 【市】 適切に実施された。 契約を見直すことにより経費の削減に努めた。 |
| 3. 事業報告・経費の収支状況等 ※協定書32条、仕様書第12条関係 | <p>【事業報告・経費の収支状況等】</p> <p>協定に基づく交付金の受入れ及び指定管理者負担金の支払</p> <p>R2 予算</p> <p>収益 341,241 千円</p> <p>費用 398,557 千円</p> <p>損益 ▲57,316 千円</p> | <p>【事業報告・経費の収支状況等】</p> <p>・事業報告書（医療提供報告書・施設管理報告書・収支報告書）</p> <p>・財産目録</p> <p>・損益計算書</p> | 介護福祉士・介護士等の退職補充と相談員の不在により、入所者の受入れが進まなかった。 | <p>【事業報告・経費の収支状況等】</p> <p>協定に基づく交付金の受入れ及び指定管理者負担金の支払</p> <p>R2 決算</p> <p>収益 212,162 千円</p> <p>費用 340,848 千円</p> <p>損益 ▲128,685 千円</p> | 2 | 2 | 【市】 決算において計画より大きな赤字となった。介護福祉士等の確保が課題である。 |